



# KIN-BALL<sup>®</sup> sport NEWSLETTER

## ご挨拶

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟 会長 松浦道夫



2017年度は念願の世界カップを東京で開催し、成功裏に終了することができました。ひとえに皆さまのご支援、ご協力の賜物だと感謝しております。会場での応援、クラウドファンディングを通じてのご支援、心温まる選手への応援メッセージなどが選手だけでなく運営に携わる私たちの力となりました。

これまで経験したことのない大規模な大会を無事開催することができ、安堵するとともにまた一つ日本キンボールスポーツ連盟の歴史がつくられたと誇りに思います。

さて、当連盟は今年で設立20周年を迎えます。1997年にNPO法人フレンドリー情報センター代表理事である吉田正信氏が、カナダ・ケベック州からキンボールスポーツの考案者であるマリオ・ドゥマース氏を招へいし、講習会を開催したのが始まりでした。翌年2月に当連盟の前身である国際キンボール連盟日本事務局が発足し、普及活動が始まりました。巨大なピンクのボール、3チームで対戦する、ヒット時にはチームの全員がボールに触れていなければならないなど、従来のスポーツにない新鮮さに魅了されるスポーツ関係者やレクリエーション指導者が多くいました。その方々が地域で地道に普及活動を行い、仲間を増やし、大会を開催し、連盟を設立し、今に至っています。初代の中心人物が勇退し、その活動を若い世代が引き継いでいる地域もあります。地域の地道な活動があって、日本連盟の20年が作られました。

私事になりますが、大阪府和泉市にある桃山学院大学に学長として在職していた頃、地域に開かれた大学を目指して行ったイベントの中にニュースポーツ体験会があり、キンボールスポーツはその中の一つでした。行政の協力も得て行ったイベントですが、その

繋がりから2005年度のと泉大阪ライオンズクラブの「子どもの健全育成」のための事業にキンボールスポーツ大会が決定。大会前にライオンズクラブと桃山学院大学が和泉市の



＜2006年3月5日 和泉市小学生キンボール大会  
和泉大阪ライオンズクラブ旗争奪戦＞

の小学校21校にボールを寄贈しました。大会に参加した子どもたちは必死にボールを追いかけて、失敗したチームメートを励まし、得点が入ればともに喜び合っていました。「共に生きることを喜び、生きる力をつける」ことがこのスポーツで実現できたと実感した瞬間でした。

これまで継続的に講習会を行い、全国大会を開催し、さまざまなプロジェクトを立ち上げ進めてきました。これらは全国各地の愛好者の方のお力添えがなければ実現できなかったことです。当連盟はこれからも新しいことにチャレンジし、新たな歴史を築いていきます。今後ともご支援、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



日本キンボールスポーツ連盟は2018年に設立20周年を迎えます。2018年度を「設立20周年記念年間」と位置づけた事業を行う予定です。

まず、20周年のロゴを製作しました。このロゴの入ったTシャツも作成します。日本連盟主催、支部主催の大会や講習会、展示会などでスタッフはこのTシャツを着用し、対外的に20周年をアピールするとともに、当連盟の歴史に誇りを持ちたいと思います。

20周年記念誌を制作します。沿革はもちろん、全国大会であるジャパンオープンの記録やワールドカップの記録をなるべく多くの写真とともに掲載したいと考えております。

6月23日(土)に東京で記念式典および祝賀会を実施いたします。これまでお世話になった方々を招いて、この20年の歩みを披露します。

上記事業の詳細は決定次第ホームページやFacebookにて発表いたします。

## 設立20周年



＜初期の頃のポスター＞

＜2001年第1回兵庫オープン＞  
すでにフェイントをするプレーヤーがいました！



＜2001年第2回ジャパンオープン＞  
(滋賀県津洲市)

